

日本共産党が木本文平美術館長に申し入れ

「不自由展」再開を自由と民主主義守って

藤井達吉現代美術館 館長 木本文平様 2019年8月18日
美術館での自由と民主主義を守るための申し入れ

日本共産党碧南市委員会議員団

山口 春美
岡本 守正
磯貝 明彦

日頃から、市民に「本物の美術」にふれあい文化と教養を高めるためにご尽力いただきありがとうございます。

愛知県で開催中の国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」の企画展「表現の不自由展・その後」が政治的圧力や脅迫により中止に追い込まれた問題は、日本の民主主義の深刻な現状を見せつけられました。

同時に、「表現の自由」への抑圧とたたかい、展示の早期再開を求める声も広がっています。中止された「表現の不自由展・その後」は愛知県の英断によって認められた企画展でした。それが外部からの脅迫と河村たかし名古屋市長の圧力によって中止に追い込まれました。本来ならば、安全確保のために国も協力して暴力を許さない断固とした態度を示して企画展を続けるべきだったのではないのでしょうか。ところが菅官房長官は暴力の危機によって表現の自由が脅かされているのに何もしないばかりか「補助金を精査する」とまで発言しました。「検閲」だとして、出展者の辞退も続いています。

私たちは、自由と民主主義を守る立場から、表現の自由を守る重要性について今改めて、憲法の立場から考える必要があるのではないのでしょうか。

今後も、碧南市の美術館としてたじろがず「表現の自由」を守っていただくこと。今回の展示の再開を機会あるごとに表明していただきたいと願います。

- 1、今後も、碧南市の美術館として「表現の自由」をたじろがず、萎縮せず守り発展させてください。
- 2、愛知県での展示中止に対して、展示再開を機会あるごとに表明してください。

愛知県にネット署名2.6万人分
国際芸術祭・あいちトリエンナーレ2019の企画展「表現の不自由展・その後」が中止に追い込まれた問題で19日、美術家の井口大介さん（60）が展示中止に反対するネット署名2万6665人分を愛知県の大村秀章知事（トリエンナーレ実行委員会会長）あてに提出しました。

ネット署名は井口さんが8月3日午後、企画展の「作品撤去・中止をしないで」と呼びかけたもの。署名開始直後に大村知事らが展示中止を発表しましたが、その後も署名は広がり、16日午後5時までに集まった2万6665人分を中間提出しました。

井口さんらが県庁を訪れ、「ぜひ再開していただきたい。それが文化テロに屈しない姿



だと思う」と訴えました。井口さんは、「こんなに署名が膨らむとは思わなかった」と驚きを語り、「ぜひ展示再開してほしい」のコメントが多数寄せられたことを紹介。河村たかし名古屋市長が展示中止へ圧力をかけたことや菅義偉官房長官が補助金交付を精査すると発言したことに触れ「展覧会のあり方に国家が介入したことは言語道断です。検閲は絶対に許せない。作品を知って見て考え議論することは憲法21条にあるわれわれの権利。あらゆる手段を講じて展示の再開を」と求めました。

文化・芸術への圧力に負けないで
日本共産党市議員団は、「平和でなければ文化芸術は成り立たない」との立場から、元県美術館長だった木本文平館長と懇談し、書面で申し入れを行いました。同館では、反戦社会派と言われる北川民次の絵も展示。彼が描いた諸々のテーマ（戦争、公害、沖縄問題、教

育制度、民主主義、労働、家族、母子など）今日の問題も扱っています。気に入らないものは、圧力と言葉の暴力で表現の自由を奪うことは絶対にあってはなりません。この問題でたじろがず、萎縮せず自由と民主主義を守っていただきたいと求めました。木本館長とともに池田竜也副館長も同席していただきました。

慰安婦問題 歴史の事実認め謝罪を
「不自由展・その後」が中止に追い込まれた慰安婦像を象徴した「平和の少女像」に河村名古屋市長が展示中止を求めたものです。歴史の真実は一つしかありません。日本軍のための性奴隷とされた被害女性たちが差別や偏見を覚悟で訴えているにきちんと向き合うべきです。心から謝罪してこそ隣人の韓国人たちと仲良くできます。満州に出兵し帰還した亡き父から「朝鮮人」と蔑視の言葉を耳に育ってきた私です。刷り込まれた差別の気持ちを「冬ソナ」ブームからの韓流が「みんな同じ思いなんだ」きれいに払しょくしてもらいました。

ハン・ジミンさんの勇気
今、地上波で再放送している「イ・サン」の恋人ソヨン役のハン・ジミンさんは、8月14日慰安婦被害者をたたえる日」の記念式典で、元慰安婦のおばあさんをねぎらう手紙を朗読しました。大人気の女優さんが、意思表示し、社会に対して態度を示すことにも、とても共感と尊敬の思いを持ちます。安倍さん、河村さん、維新のかたがたちちゃんと政治家ならば、真実と向き合い、平和憲法にそって行動すること。碧南の地からも、強く抗議したいです。（山口はるみ）

憲法と自治のチカラが地球の未来を切り開く

第61回 自治体学校 in 静岡に参加して

参議院選挙で、自民公明維新など憲法改正勢力を国会の3分の2割れに追い込んだ直後の、7月27・28・29日の3日間、静岡市で行われた「第61回自治体学校in静岡」に日本共産党市議団3人が、会派視察として参加してきたので報告します。

3日間902人の参加

「静岡合唱団なかま」と「川原太鼓保存会」の和太鼓で幕開けした初日。特別発言として「浜松市の水道民営化を考える市民ネットワーク」事務局長の池谷たか子氏から「水道事業は公営でいいじゃないか」と題して、2018年4月から水道民営化をスタートしたものの、市民運動で2019年1月31日、市長に「当面延期」を発表させた経験が報告されました。「いのちの水や、下水道まで企業利益に捧げる政治の深刻さを目の当たりにしました」。



辺野古の問題は全国に突き付けられたもの

「辺野古県民投票の会」元副代表の安里長従氏からは「辺野古問題は、日本全国から受け皿になりえるのかと考へ安保体制の大本をえぐる事が求まられている」との指摘が胸に刺さりました。票の結果は法的拘束力はない。全国の地方議会が国会及び政府に意見書を上げていく事が必要である」と訴えがあった。

人口4000人の村から自治を

人口4000人の高知県大川村の和田知士村長から、「議会も候補者もできなくなる。憲法92・93・94条の村民総会は適切か」国策の早明浦ダム建設や合併で自治が破壊された現状に、7万人口の碧南市での議会と自治の大切さを再認識させられました。

道州制や合併、2040構想の問題点

記念講演で「憲法と自治のチカラが地域の未来を切りひらく」として京都橘大学の岡田知弘教授が語りました。第二次安倍政権で、公共サービスの産業化や、個人情報

の利活用などが推進されると指摘。「政府の自治体戦略2040構想は上からの押し付けで自治体関係者から猛反発が起こっています。地域を活性化し豊かにするには、基本的な人権と福祉の向上をめざす対抗構想を大きく推進していくことが必要と呼びかけました」。

分科会 「全世代型社会保障」と介護保険の課題 山口はるみ

立教大 芝田英昭教授から、消費税増税の隠れ蓑として保育無償化奨学金の問題点が指摘され、真の全世代型社会保障の必要性和消費税に頼らない財源確保について求めていくべき。福祉現場での専門性は「予見性」「自由裁量権」がキーワード。経験や処遇改善が不可欠。障がい者を65歳介護に回す法の問題点などを学びました。今年4月から65歳以上の身障者を認めない碧南市の冷たい市政に改めて怒りがわきました。

分科会 「幼児教育・保育無償化」 磯貝明彦

奈良女子大学の中山徹教授から「保育無償化の最大の問題点は、財源が消費税という事。対象は「3・4・5歳児」、3年間だけの無償化で、その後は増税2%分がのしかかる。認可外保育施設も無償化対象になり質の低下が進むと指摘しました。給食代の自己負担など9月議会での対案論戦の糧になりました」。

分科会 大規模災害と自治体の役割 岡本 守正

塩崎賢明(神戸大学名誉教授)から災害復興への備えについて、日本は災害大国であり、常設の防災・復興機関が必要である。イタリアには「市民安全省」、アメリカにはFEMAがあります。また日本で災害関連死が増えており、避難所生活は世界的に後進国の状態で改善が必要なことが具体的によくわかりました。

牧之原市「対話による協働のまちづくり」

元牧之原市長の西原茂樹氏から「対話による協働のまちづくりを語る」特別講演。話し合いの手助けをするファシリテーター(促進者)を平成25年「牧之原市政への市民参加に関する条例」で位置付けました。碧南市は形ばかりのワークショップで、業者やトップの計画を踏襲するばかり。憲法や自治に改めて立ち返り、住民の幸せ感を広げていかなければと思いました。

長崎平和記念式典に参列しました

8月9日、長崎市主催の「被爆74周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列しました。長崎の原爆死者名簿登録者数は、18万2601人。被爆者代表の山脇佳朗さんの「平和への誓い」では「安倍総理にお願いしたい。被爆者が生きている内に世界で唯一の被爆国として、あらゆる核保有国に『核兵器を無くそう』と働き掛けてください。この問題だけはアメリカに追従する事なく『核兵器廃絶』の毅然とした態度を示して下さい。」と安倍総理に要求しました。被爆者の方や子どもたちや高校生の歌声が心にしみました。私も行動し続けることを強く誓った式典でした。原爆で亡くなられたお一人お一人に心からの哀悼の意を捧げます。



日本共産党衆議院議員 もとむら伸子

日本共産党碧南市議団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

お気軽にご意見ご要望を

弁護士による無料法律相談

◆毎週土曜日午前10時～12時
日本共産党知立市事務所
◆隔週火曜日午後6時～
日本共産党西三河地区委員会事務所

19日行動
9月19日(木)
午前11時～12時 スーパーヤマナカ前